

五常

編集発行
コミュニティ協議会
広報委員会

人口
7,781人
世帯数
3,218世帯
令和3年9月現在

第13回 五常文化祭

開催に向け、準備中！



長引くコロナ禍により、夏祭りをはじめ、コミュニティ協議会主催のイベントは、中止が続いています。が、今年度の五常文化祭については、実施を前提に準備を進めております。

つきましては、絵画、書、写真、工芸など、校区の皆さまが制作された作品を、募集いたします。出展いただける方は、

1. 氏名
2. 住所
3. 連絡先(電話番号)
4. 作品種別および点数

を、先般お配りした申込書にご記入のうえ、FAX送信願います。その際、申込書部分は切り取らず、A4サイズのまま送信してください(送受信トラブルの原因となりやすいため)。

メールの場合は、右枠内の項目を、自由形式でお送りください。期限は、10月9日(土)までとさせていただきます。



2019年度 会場風景

お申し込みいただいた方には、後日こちらより、ご連絡差し上げます。なお、申込書については、ホームページ(欄外にURL)・新着情報からも、ダウンロード可能です。



過去の出展作品より

毎回楽しみにされている方も多い演奏会ですが、この状況下では、高校・中学生の来演が難しいことから、見送りました。当日は、最近の演奏風景などをお借りして、上映する予定です。

また、喫茶コーナーの設置についても、飲食の提供が厳しく制限されるため、今回は見合わせることにしました。

今後、緊急事態宣言の延長など、

新型コロナ対策の強化により開催が困難と判断され、中止する場合は、出展予定の方々ならびに校区の皆さまへ、すみやかにお知らせいたします。あらかじめ、ご承知置きください。よろしくお願いいたします。



第13回「五常文化祭」

- 日時 : 2021年10月24日(日) 10:00~16:00
- 場所 : 五常小学校 体育館

* * * * *

出展申込先 (宮路 美佐宛) 締切 : 10月9日(土)

- ・ Tel & Fax : 841-2778
- ・ E-mail : heartfulhands415@gmail.com

東中振開発造成区域図



校区だより

東中振開発造成工事

現在、東中振一丁目で、大規模な宅地造成工事が、始まって

います。

ここは長らく、鬱蒼とした深い森だったところです。

すでに、樹木の伐採は終わり、むき出しになった地面を、シヨベ

ルカーなどの重機が、右へ左へ忙しく立ち働く様がフエンス越しに見て取れま

す。この先、どんな姿に変わっていくのか、興味津々眺めておられる方も多いでしょう。

お盆休みに入る直前の8月6日、工事車両運行時の安全対策や、工事完了後の防犯灯設置計画など、

いくつかの質問事項を携えて現場事務所を訪ね、工事を担当する(株)竹中土木の菊田所長より、お話を伺いました。

○質疑応答

① 車両運行時の安全対策

- ① 搬入／搬出口(A)および交差点(B)に、誘導員を配備
- ② 現場付近の運行路は、(A)―(B)および(B)―以楽公園交差点(C)におよび(B)―以楽公園交差点(C)に限定
- ③ (A)―(C)間は、通学路にあたるため、時速30kmを厳守

② 防犯灯

図面をもとに、関西電力が設置案策定中の電柱に添架予定

③ 5月末の豪雨の影響

① 工事の支障となる影響は特になし。ブルーシートや土嚢は、現在も使用中のタクシー無線の電波塔を保護するために設置

② 工事中の降雨を速やかに排出するための施設(仮設沈砂池、素掘り側溝等)を各所に設置しており、想定通り機能することが確認できた

④ 造成後の雨水排水計画

調整池が計画されており、造成区域内の降雨は、いったんここに貯留され、東中振南公園南側の最終流末(直径80cm雨水排水管)へ、排出される

○現場見学

その後、ヘルメットと長靴着用の上、工事現場を案内していただきました。

この日の太陽は、雲に隠れがち。カンカン照りなら、急勾配の坂道を登るのは、キツかったです。



それでもけっこう、骨が折れました

現状では事務所のあるD地点側とA地点側の間には、約30mの高低差があります。

今後、A地点側はさらに掘り下げて隣接家屋との間に擁壁を設けて逆D地点側には現在の事務所が埋まるくらいまで盛土を行い、



上から見下ろすと壮観です

最終的な高低差は約20mになるということですが、

したがって右の図で、S字状の紫の帯として描かれている道路は、完成時には、ゆるやかな坂道として、整備されることとなります。

○建機と共に

最近の工事現場は、防塵ネットなどで覆われているため、中の様子はなかなかうかがい知ることが出来ません。動く建機をこんな間近で見える機会に恵まれようとは、思いもませんでした。



エンボの雄姿

できることなら写真に撮るだけでなく、運転席に座って、巨大なアームを自由自在に動かしてみたい気がします。

○境界標石

工事が開始されて間もなく、見つかったものがあります。

雨水の浸潤や土砂による摩耗により、ずいぶん薄れてはいますが、「陸軍用地」と刻字された石柱です。側面には、「二二四」とありました。

妙見山見学会などで無償配布される、枚方市人権政策室発行の「枚方市平和(戦争遺跡)ガイド」に



発見された標石

よれば、この土地の東側のラインは、戦時中の工場、正確には東京第二陸軍造兵廠(香里製造所)の敷地との境界だったようです。

木々の間に埋もれていたのが、数十年ぶりに日の目を見たということでしょう。

この標石は全国至るところで見られるもので、この近辺なら、かつての工場敷地の北辺にあたる桜公園にも、比較的良い保存状態で残されています。



桜公園の標石

すでに枚方市へも届出済ですが、周辺一帯に数多く存在し、史料と

しての価値が、さほど高くないことから、市としては保管・保存に消極的なようです。

開発区域に作られる公園内になんらかの形で残す案も出ていることですが、まだ確定はしていません。

でもせっかくな見つけたものだから、桜公園のような目立たぬ形にしる、保存してもらえればと思います。

○今後の予定

来年1月から、盛土用の土砂搬入が本格的に始まり、一日最大50台の10トトラックが出入りすることになっています。

そして、竣工予定は2022年9月。92戸分の宅地が、出現します。その後、分譲・住宅建築・入居。

この日同席された事業主(株)クリアジャパンの大倉顧問には、大所帯となる新しい町の、自治会設立を主導していただけるよう、強くお願いして来ました。

この土地が一年後、どんな姿で登場するのか、楽しみに待ちましよう。

煙突山見学会

10月30日(土)

11時～15時

場所…妙見山配水池

右の日程で、恒例の煙突山見学会が開催されます。

現役の水道施設ですので、ふだんは中へ入ることが出来ません。近所に住んでいながら、まだ行ったことがないという方は、この機会にぜひお越しください。

当日は枚方市人権政策室による煙突山と香里ヶ丘の歴史解説も、実施予定です。

団地が建ち並んでいたかつての姿も、今は昔になってしまいました。そのさらに昔の姿を知ること、この土地に対する愛着も、さらに増すかもしれませんよ。



光の国から枚方へ



8月末から約2週間、枚方市駅前のT-SITEで、ウルトラマンフィギュア展が、開かれました。

1階エントランス部分では、精巧に作られた歴代のウルトラマンたちが、それぞれ得意のファイティングポーズを決めていました。

初代ウルトラマンが登場してから、今年で55年になるそうです。

当時の人気は凄まじく、月曜朝の教室は、前夜の放送の話題で持ちきりだったものです。

それ以来、長きにわたって各種の媒体で、様々な派生作品が作られ続けているという事は、造形や基本設定に、よほど普遍的な力があつたのでしょう。

まさに巨大ヒーローです。



自治会とは？



そもそも自治会とは、なんでしょう？一応入ってはいるけど、あまり深く考えたことがない、という方も沢山いらっしゃるのではないのでしょうか？

自治会の役割には、ざっと以下のようなものがあります。

- ① 回覧物の配布
 - ② 防犯灯の管理
 - ③ (新設/故障の申請、電気料金の補助申請等)
 - ④ イベント(夏祭り等)の実施
 - ⑤ 防災訓練の実施
 - ⑥ 親睦会(敬老会等)の支援
 - ⑦ 枚方市への、設備追加申請(横断歩道の増設等)
- ⑦ 地域内の清掃
- ほかに、年2回の防犯パトロールや、廃棄物減量推進などを、自治会員の輪番で行っています。

地域の明るい未来のために
災害から地域を守り、避難から子供たちを守るためには、住民が仲良く助け合っでいようという「自治会」の役割が非常に重要になってきます。
あなたも、地域の明るい未来のために自治会活動に参加しましょう。

防犯・安全対策

- 防犯灯の維持管理
- 防犯パトロール
- 交通安全活動

情報伝達

- 回覧物や掲示板でのお知らせ
- 防災のイベント
- 緊急連絡
- 広報誌の発行

地域の絆を深める

- 祭りなど行事の開催

地震・水害などの自然災害への備え

- 自主防災組織の育成
- 防災訓練実施

快適で美しいまちづくり

- 地域清掃
- 公園等の管理・清掃
- 町並み景観の改善
- 集合体の維持管理

高齢者・子どもを守る

- 高齢者の交流会
- 子どもや若年層の活動支援
- 子どもや高齢者の見守り活動

枚方市コミュニティ連絡協議会
（枚方市役所 市民生活課内）
TEL 072-841-2723
FAX 072-841-5133

また大きな災害に際しては、住民同士の助け合いの中心に立つのが自治会です。神戸や東北の大地震の際は、隣近所の助け合いが、多くの命を救ったと言われています。

大阪府北部地震でも、自治会長はじめ役員の方たちが、安否確認に尽力されました。

自治会への加入により、様々な役割を押しつけられ、時間や労力を奪われるという側面があるのは事実です。地域のしがらみに絡めとられるようで窮屈、と感じる方もあるかも知れません。

ただ、独りの力では手に負えないようなことを実現したり、イベントをみんなで作ったり、思いもよらぬ新たな友人が見つかったりするものも、自治会です。尻込みせずに、飛び込んでみて下さい。

なお、欄外のホームページでは、「よくあるご質問」の中で自治会役員の仕事などを、解説しています。そちらもぜひご覧ください。

編集後記

夜になると、虫の声がひっきりなしに聞こえます。食欲の、読書の、そして文化の秋。二年ぶりの五常文化祭、おたのしみに。
(広報委員会)